

降圧剤 [アムロジン 5 mg] レポート

比較的平易な解説

以下の記述はここです。→ <http://www.interq.or.jp/ox/dwm/se/se21/se2171022.html>

概説 血圧を下げるお薬です。高血圧や狭心症の治療に用います。

作用 【働き】

心臓や体の血管を広げて血流をよくします。そうすると血液の抵抗が減り、血圧が下がります。また、心臓の収縮をおさえて、心臓を休ませる働きもします。

おもに高血圧や狭心症の治療に使用されます。血圧を適切にたもつことは、将来起こるかもしれない脳卒中や心臓病、腎臓病を防ぐことにつながります。

そのほか、脳、腎臓、手足、目の網膜など体全体の血流を改善するので、いろいろな病気に応用されることがあります。

【薬理】

血管壁の細胞にカルシウムが流入すると、血管が収縮し血圧が上がります。このお薬は、カルシウムが細胞内に入るのをおさえます。その結果、血管が広がり血圧が下がります。このような作用から「カルシウム拮抗薬」と呼ばれています。

特徴

* カルシウム拮抗薬に分類されます。この系統は効き目がよく、また安全性が高いので、高血圧の治療に第一選択されています。一般的には、安定した効果を発揮する持効タイプの製剤を用います（1日1回もしくは2回の服用でよいもの）。

* 血糖、尿酸、脂質などに影響しません。年齢を問わず広く用いることができます。とくに合併症の多い高齢の人に適します。

* 持効性のカルシウム拮抗薬を用いた長期臨床試験で、予後改善効果（長生き効果）も認められています。

* 同類薬としては、ゆっくりと効きはじめ作用時間が長いのが特徴です。潮紅、頭痛、動悸などの副作用も少ないです。たいへんよく使われている

ます。

注意

【診察で】

* 持病やアレルギーのある人、また妊娠中の人は、医師に伝えておきましょう。

* 服用中の薬は、医師に伝えてください。

【注意する人】

高齢の人は副作用がでやすいので少量より開始するなど慎重に用います。

* 注意が必要なケース.. 重い肝臓病、重い腎臓病、高齢の人など。

【飲み合わせ・食べ合わせ】

* 他の降圧薬や利尿薬と併用するときは血圧の下がりすぎに注意します。

* 飲酒は控えましょう。アルコールは、めまいや動悸などの副作用を強めます。

【使用にあたり】

* 決められた飲み方、服用量を守ってください。

* 効果の発現は遅く、ゆっくりと効いてきます。

【検査】

心電図検査や血液検査をおこなうことがあります。決められた検査を受けるようにしましょう。

【妊娠・授乳】

基本的に妊娠中は禁忌です。けれど、特別に危険性が高いわけではありません。他の降圧薬が効かない場合など、医師の判断で用いることがあるかもしれません。

【食生活】

* 血圧が下がり、めまいを起こすことがあります。車の運転や高所での危険な作業には十分注意してください。

* 本態性高血圧症では、生活習慣の見直しも大切。減塩などの食事療法、運動療法、肥満があれば体重を落とすだけでも血圧が下がるものです。軽い高血圧であれば、薬をやめられることもあります。できたら簡易血圧計で自宅で血圧測定をおこない、適切に血圧がコントロールされているかチェックすることをおすすめします。

効能

- * 高血圧症。
- * 狭心症。

用法

- * 高血圧症.. 通常、成人はアムロジピンとして 2.5～5mg を 1 日 1 回経口服用する。なお、症状に応じ適宜増減する。
- * 狭心症.. 通常、成人はアムロジピンとして 5mg を 1 日 1 回経口服用する。なお、症状に応じ適宜増減する。

※用法用量は症状により異なります。医師の指示を必ずお守りください。

副作用 わりと多いのは、顔のほてり、潮紅、頭痛、動悸（ドキドキ感）、めまいなどです。徐々に慣れてくることが多いのですが、ひどいときは早めに相談してください。

長く飲み続けるていると、足の甲がむくんだり、歯肉が腫れてくる場合があります。歯肉の腫れは、歯肉をよくブラッシングし口内を清潔に保つことで、ある程度予防可能なようです。

重い副作用はほとんどありませんが、もし、胸が痛んだり、脈が異常に遅くなるときは（1分間に 50 以下）、すぐに受診するようにしてください。そのほか肝障害や血液障害も報告されています。以下のような症状に念のため注意してください。

【重い副作用】

.. めったにないですが、初期症状等に念のため注意ください

* 肝臓の重い症状.. だるい、食欲不振、吐き気、発熱、発疹、かゆみ、皮膚や白目が黄色くなる、尿が褐色。

* 重い血液成分の異常.. 発熱、喉の痛み、だるい、皮下出血（青あざ）や歯肉からの出血。

* 心臓の伝導障害.. 胸が苦しい、脈がとぶ、脈が遅い（50/分以下）、めまい、失神。

【その他】

* 顔のほてり、潮紅、頭痛 / * 動悸、徐脈、胸の痛み / * だるい、めまい、立ちくらみ、血圧低下 / * 足のむくみ、歯肉の腫れ / * 肝機能値の異常、発疹、かゆみ

~~~~~

以下の記述は↓ここ

[http://health.goo.ne.jp/medicine/search/1379\\_3/su/0/indexdetail.html](http://health.goo.ne.jp/medicine/search/1379_3/su/0/indexdetail.html)

「アムロジン」

<解説>

筋肉が刺激を受けるとカルシウムが細胞内へ移動し、筋肉が収縮します。カルシウム拮抗(きっこう)薬は、カルシウムが細胞内へ移動するのを抑制して、筋肉がゆるむのを早めます。

そのため、心臓へ栄養を送っている冠状血管や末梢血管を拡張させ、血圧を下げることにより、心臓の仕事量や心筋（心臓の筋肉）の酸素消費量を減少させます。そこで、この薬剤には「カルシウム・チャンネル・ブロッカー」という気のきいた呼び方もあるわけです。

なお、塩酸ベプリジルの適応症は、狭心症のほかに頻脈性不整脈（心室性）があります。日本では不整脈治療薬に分類していますが、『メルク・インデックス』（アメリカの医薬品カタログ）ではカルシウム拮抗薬に分類しています。

<使用上の注意>

- (1)服用してはいけない場合……重いうっ血性心不全， 2度以上の房室ブロック， 洞房ブロック / 妊婦
- (2)慎重に服用すべき場合……高度の徐脈（脈拍数 50 以下）， 1度の房室ブロック， うっ血性心不全， 低血圧
- (3)グレープフルーツジュースと同時に服用すると， 本剤の肝臓における分解が阻害されて血中濃度が高くなり， 血圧が過度に低下することがあります。2時間以上の間隔をあけてください。[アムロジピンとジルチアゼムを除く]
- (4)従来， 即効性を期待してカプセルをかみくだいて舌下に用いることがありましたが， 過度の降圧や反応性頻脈のおそれがありますので， そのような用い方はしないとされました。[アダラート]

<重大な副作用>

◆塩酸ジルチアゼム・ニフェジピンの添付文書による

- (1)完全房室ブロックや高度の徐脈が報告されています。
- (2)うっ血性心不全，皮膚粘膜眼症候群（ステイブンスージョンソン症候群），中毒性表皮壊死(えし)症（ライエル症候群）などが報告されています。
- (3)剥奪性皮膚炎（紅皮症）が報告されています。
- (4)無顆粒球(かりゅうきゅう)症がおこることがあります。
- (5)黄疸(おうだん)やGOT（AST）・GPT（ALT）値の上昇などの肝機能障害がおこることがあります。
- (6)ショックがおこることがあります。
- (7)血圧低下に伴う過度の意識障害がおこることがあります。

<その他副作用>

- (1)服用を中止し処方医に連絡する副作用……アレルギー症状（発疹など），連用による歯肉肥厚
- (2)おこることがある副作用……顔面紅潮，頭痛，めまい，悪心(おしん)・嘔吐(おうと)，食欲不振，便秘，肝機能検査値の異常，下肢のむくみ，こむらがえり，脱力感，過敏症（光線過敏を含む）
- (3)検査……心機能異常に備えて，定期的に心電図検査を受けることが必要です。

<他の薬剤使用時の注意>

- (1)本剤との併用で副作用が増強する薬剤 [ジルチアゼムの添付文書による] ……血圧降下薬（低血圧になることがある）／ベーター・ブロッカー(ベーター・ブロッカー適応症に不整脈を含むもの，ベーター・ブロッカー適応症が狭心症と高血圧のもの)，ラウオルフィア製剤（徐脈が現れることがある）／抗不整脈薬，利尿薬など低カリウム血症をおこす薬剤（心室細動をおこすことがある）／カルバマゼピン，塩酸セレギリン，テオフィリン，シロスタゾール，シクロスポリン，タクロリムス)，フェニトイン，シメチジン，HIVプロテアーゼ阻害薬(エイズ治療薬 (2) 参照)など
- (2)本剤との併用で作用が弱くなる薬剤 [ジルチアゼムの添付文書による] ……リファンピシン

(3)本剤との併用で作用が増強される薬剤 [ジルチアゼムの添付文書による]  
……麻酔薬, 筋弛緩(しかん)薬

~~~~~

降圧剤は、グレープフルーツ（ジュース含む）との相性が最悪らしいです。
これについてはここ→<http://www.m-junkanki.com/diseases/HT2.html>

なお、アムロジピン系の製品名「アムロジン」は、
比較的危険性が少ないとのことです。(秀文)

~~~~~

Q：64歳 女性 高血圧のため、過去アムロジンを服用していた。最近血圧が  
180～170/85 前後。食欲ありミニプレス朝・夕初めて服用（1錠ずつ）。その結  
果頭がフラフラし足膝に力が入らない。医者に相談したけれどはっきりしない。  
多分ミニプレスのせいではなかろうか？現在（服用中）の血圧は 108/89 ですの  
に上記の症状は消えない。詳細なご指導をお願いします。

A：アムロジンはカルシウム拮抗剤で、細かい動脈を拡張して血圧を下げる働  
きがあります。ミニプレスはα遮断剤で、末梢血管を拡張して血圧を下げる働  
きがあります。アムロジンは、5mg 錠と 2.5mg 錠と 2 種類があります。5mg  
は量が多いので、飲んだあと効果が強いのです。2.5mg 錠を 2 錠、朝・夕に 1  
錠ずつ内服すると 1 日の血圧の変動が少なくて済みます。

ミニプレスの 0.5mg1 錠の追加は、さほど量が多すぎるとは思われませんが、  
血圧が 170-180mmHg/85mmHg あった人が、150mmHg/90mmHg になったとい  
うことは、血圧の下がり方が急だったため、脳循環血液量が少なくて、フラフ  
ラしたり、足に力が入らなかったのでしょうか。1 週間もすれば、身体がこの血  
圧になれてくるので、症状もなくなっていると思いますが如何でしょうか。

それでも調子が悪い場合は、α遮断剤の副作用の立ちくらみが考えられま  
すから、α遮断剤を ACE 阻害剤に代えてもらったらよいと思います。

私なら、例えば、アムロジンを 5mg の 1 錠の代わりに、2.5mg 錠を 2 錠に  
して、朝・夕 1 錠宛にします。そして、カプトリル R を朝 1 カプセル追加して  
みたいと思います。

カルシウム拮抗剤と ACE 阻害剤の併用ですと、立ちくらみなどは起こりに

くいと思うからです。

~~~~~

以上2006/3/8